

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんざいだんほうじんにほんきょうげきしんこうきょうかい 一般財団法人 日本京劇振興協会		
代表者職・氏名	代表理事 潮新		
制作団体所在地	〒156-0055		
	東京都世田谷区船橋6丁目7-1 エスカイア千歳船橋103号		
電話番号	03-6411-4168	FAX番号	03-6411-4196
ふりがな 公演団体名	しんちょうげきいん 新潮劇院		
代表者職・氏名	主宰 張春祥(本名:潮新)		
公演団体所在地	〒156-0055		
	東京都世田谷区船橋6丁目7-1 エスカイア千歳船橋103号		
制作団体 設立年月	2016年1月(任意団体としては1996年 1月)		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 潮新 常務理事 梅木俊治/理事 加藤徹 評議院:佐藤信、劉穎、平林宣和 監査:山下輝彦		非常勤職員3名
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	梅木俊治 根目澤容子・宍戸和弘
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	梅木俊治

<p>制作団体沿革</p>	<p>祖父の代から三代に渡って受け継ぐ京劇一家に生まれた張春祥が日本での京劇普及と日中文化交流を目的に設立。在日京劇俳優と日本人俳優とで構成され、日本人にもわかりやすく京劇を伝えるとともに、コラボレーションや新編京劇創作などの先駆的試みも行う。日本人俳優の育成にも務めている唯一の在日京劇団。</p> <p>1996年 在日京劇団「新潮劇院」として設立 1999年 日本人舞台俳優とのコラボレーション、日本人向け演出、日本語セリフ導入を開始 2000年 初となる創作京劇「中国の不思議な役人」上演 2002年 一般向けの京劇教室開講 2009年 元中国戯曲学院講師・張桂琴を招いての京劇俳優研修制度開始 2014年 中国最高峰の児童伝統芸能コンテスト「小梅花」金賞を受賞 2016年 「一般財団法人 日本京劇振興協会」として法人化 2018年 子供京劇団「世田谷こども京劇団」設立 2020年 能楽・京劇コラボレーション作品「霸王別姫～能楽と京劇 日中ユネスコ無形文化遺産の融合～」を令和2年度(第75回)文化庁芸術祭参加公演として上演</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2009年 日暮里サニーホール 楽しい京劇の時間(小学生向け京劇ワークショップあり) 2011年 群馬県高崎小学校での京劇公演 2014年 成城ホール・清瀬けやきホール・柏アミュゼ「子どものための京劇体験教室」 2015年8月 久留米シティプラザプレ事業「夏休みだ！ 京劇 やってみる観る?!」 2016～2018年 ヨコハマアートサイト2016「こども京劇プロジェクト」 横浜市立保育園・小中学校京劇公演と共演型公演実施 2016年 成城ホール「こども京劇」 2017年8月 福岡・大阪・東京にて日中子供伝統芸能交流公演 2018年度～横浜山手中華学校で発足した「京劇部」の指導担当 2019年12月～2020年1月 子どもゆめ基金助成事業「こども京劇プロジェクト in 兵庫」など</p>		
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>2017年12月 「ヨコハマアートサイト2017」にて横浜市立ろう特別支援学校での京劇上演 2018年7月 千歳台福祉園にて京劇上演 2019年1月 社会福祉法人 同愛会 リエゾン笠間にて京劇上演 2019年9月 千歳台福祉園にて京劇上演 2019年9月 社会福祉法人 同愛会 リエゾン笠間にて京劇上演 2021年3月 千歳台福祉園にて京劇上演</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p>https://youtu.be/kZPtZWQJQFM</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 新潮劇院】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	新潮劇院 京劇公演「孫悟空 天界で大暴れ」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>孫悟空 天界で大暴れ ～西遊記より～ (古典演目/脚本・演出 張春祥)</p> <p>公演時間(レクチャー20分 本編60分 合計 80 分 : 応相談)</p>			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項 が含まれる	(制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	※別添あり			
演目選択理由	<p>2019年度まで文化庁巡回公演採択事業として5年間の上演をした演目となります。さらに内容を検討し、全生徒・児童が上演に関われるように工夫をしました。学校向け・児童向け上演演目としては長年の実績があります。日本人にもなじみがあってコミカルなキャラクターの「孫悟空」は、すぐに児童・生徒たちに受け入れられやすい存在で、スムーズに京劇の世界に入り込むことができます。また、セリフ回しよりも表情やしぐさによる表現が多いため、中国語であることを意識せずに鑑賞することができ、中学生から小学校低学年まで(更には幼児まで)幅広い年代が同時に楽しむことができます。そして、立ち回りや派手なアクション・アクロバットも多く、若い世代がより興味を強く惹く演目です。上演を鑑賞した後に、他の中国文学や諸外国について興味を高めるのも海外伝統芸ならではの特色といえます。</p> <p>神々から「暴れん坊」のレッテルを貼られる孫悟空ですが、筋が通らないことに怒っているだけ・・・というもの、高学年の児童・生徒には共感を得られたり、考えさせられたりする部分があるかと思います。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	※別添あり			
出演者	<p>主役(孫悟空):石山雄太 東京都浅草生まれ。小学生のとき来日公演の京劇「孫悟空」を見て以来京劇に魅了され 高校卒業後、中国戯曲学院(中国で京劇を専門に教える唯一の大学)に留学。卒業後は 中国トップの京劇団・中国京劇院(現・中国国家京劇院)に所属。京劇界初の外国人の 京劇俳優として活躍。帰国後、京劇普及のため精力的に公演活動を続ける。専門の役柄は立ち回りを交えた幅広い演技力を要求される道化役「武丑(ぶちゅう)」。2017年より立教大学兼任講師を務める。</p> <p>他出演:張春祥(新潮劇院団長)/侯偉(上海京劇院出身)/劉東風(北京京劇院出身)/張飛鳳/竹口美鈴など計8名</p>			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 8 名</p> <p>スタッフ: 3 名</p> <hr/> <p>合計: 11 名</p>	機材等 運搬方法	<p>積載量: 1.25 t</p> <p>車 長: 6.9 m</p> <p>台 数: 1 台</p> <p>※機材搬入出のみ業者2トラック駐車</p>	

<p>実施に当たっての 会場条件</p>	<p>実施条件等確認書①をご確認ください。</p>					
<p>会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p>	<p>前日仕込み</p>	<p>有</p>	<p>会場設営の所要時間</p>	<p>1</p>	<p>時間程度</p>	
	<p>※前日仕込みは絶対条件ではない</p>					
	<p>到着</p>	<p>仕込み</p>	<p>本公演</p>	<p>内休憩</p>	<p>撤去</p>	<p>退出</p>
	<p>前日18時</p>	<p>設営:前日18~19時 メイク・着付:9~13時</p>	<p>13時~14時半</p>	<p>なし</p>	<p>14時半~17時</p>	<p>17時</p>
<p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>						
<p>児童・生徒の 参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>		<p>本公演共演者 6~26名+ワークショップ600名程度</p>			
	<p>本公演</p>		<p>共演者6~26名 観覧 600名程度</p>			
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>※別添あり</p>					
<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>※別添あり</p>					
<p>特別支援学校での 実施における工夫点</p>	<p>派手な衣装・メイク、おおげさな様式による感情表現など「ノンバーバルな演劇」としても成立していますので、特別支援学校においても特に改変なく上演は可能です。児童との共演に関しては障害の重さ・内容によってどのような対応ができるかは変わって来ますので、事前に学校担当者の方と綿密に連絡を取り内容を都度調整させていただいて、スムーズに実践ができるように尽力致します。</p>					
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>					

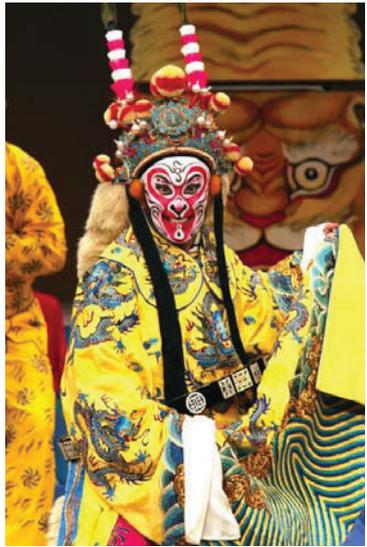
リンク先	No.2	【公演団体名	新潮劇院 】
------	------	--------	-----------

【上演前レクチャー】
日本人俳優による楽しいレクチャーがあり、京劇舞台の鑑賞方法に関する予備知識を得ながら、和やかな雰囲気の中で鑑賞に臨むことができます。演劇鑑賞は「静かに見る」というのが一般的な印象ですが、京劇は元々茶館で気軽に観劇していた芸能で、観客も一緒に歓声を上げて応援することができます。拍手や「好(ハオ)！」の掛け声の練習は毎回大変に盛り上がります。



【本編:孫悟空 天界で大暴れ】
日本の「歌舞伎」のように中国を代表する伝統芸能「京劇」。その中で日本人にも人気のある「孫悟空」の演目を上演。

○あらすじ
『孫悟空』が三蔵法師と出会う前、暴れん坊の頃のお話。『孫悟空』のいたずらにすっかり手を焼いた神々は、天界での役職を与え、おとなしくさせようと考えたのですが『孫悟空』は神々の宴を荒らして大暴れ、ついには神々との戦いになるのでした。
○みどころ
派手なメイクと豪華な衣装の中国伝統芸能「京劇」は日本の伝統芸能とは全く趣の違った強い印象を持っています。そして京劇の中でも特殊な存在であり、多くの京劇俳優が演じたいと夢見るキャラクターが『孫悟空』です。彼がまだヤンチャな時代の自由闊達な様子や、サルとも人間ともつかない不可思議で豊かな表情、そして得意の棒術による立ち回りの激しさは古今にわたって観客の心をつかんで離しません。また、天界の神々は、それぞれ独特な限取を施しているのも特徴的です。クライマックスの大立ち回りは必見。



演目概要



【その他特徴】
○舞台両側には日本語字幕が付きませんが、俳優のオーバーな表情・しぐさだけでも十分内容は伝わる上に、各場面ごとに日本語のナレーションも入ります。冒頭には日本語のセリフを話す俳優も登場し、字幕を追うことに捕らわれず鑑賞できます。
○主演の石山雄太は日本人でありながら子供の頃より京劇の孫悟空に憧れ、単身、本場中国に渡って中国人でも難関である最高峰の劇団「中国国家京劇院」に所属するまでに至った、まさに『夢を叶えた』人物です。そんな彼の行動力と、芸術へと取り組む姿勢は子供たちに感銘を与えます。
○舞台上では事前に指導を受けた子供たちが本物の京劇メイクと衣装とで舞台に登場し、単なるゲストではなく、ストーリーの進行上必要なキャラクタとしてお芝居を演じます。



留学時の石山雄太

リンク先 No.2

【公演団体名 新潮劇院 】



①事前のワークショップに参加した児童・生徒代表が、本物のメイク・衣装で本編に登場。ストーリーの進行上必要なキャラクタとしてプロの京劇俳優と共演します。チームごとに立ち回り、アクロバット、旗のマスゲーム、中国語セリフなどを繰り広げます。終演後には集合写真を撮影します。

②学校の教員もメイクをして登場します。最初は誰だかわからない子供たちも、正体が明かされると大変に驚き、舞台も盛り上がります。



③事前のワークショップで練習した京劇の唱やセリフを劇中全員で唱和し、それをきっかけに物語が進行します。今回申請にあたっての大きな追加要素です。



児童・生徒の共演、
参加又は体験の形態

④劇中には日本語を話す俳優が観客の子供たちの中に入って行ったり、全員に「孫悟空はどこへ行ったかな？」などの質問をしたりします。俳優とのコミュニケーションを楽しみつつ、子どもたちも劇の一部として参加している一体感、没入感を深めます。また、京劇は観客が舞台に声援を送る習慣があり、公演前のレクチャーで拍手や「好(ハオ)！」の掛け声を事前に練習して、観客側にいるこどもたちも役者と一体になって演劇のライブ感を共有します。



⑤希望があれば上演前のバックヤード(舞台裏)見学に対応します。豪華な刺繍のある京劇衣装を間近で確認したり小道具の意味についてレクチャーを受けたりできます。また、京劇メイクの様子を見学し、何名かの子供たちには簡単な京劇メイクを施すこともできます。



⑥希望があれば、終演後に俳優への質疑応答、児童代表挨拶、クラスごとの集合写真の撮影なども対応します。



リンク先	No.3	【公演団体名 新潮劇院 】
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>【京劇レクチャー】 「伝統芸能とは何か？」から始まり、中国伝統芸能「京劇」についての歴史・様式、そして今回上演する演目の概要について説明していきます。</p>	
	<p>【共演者への指導】 事前に公演で出演していただける児童・生徒の参加希望者を募っていただき、プロの俳優が共演に向けての指導をします。役柄は天兵、小猿、仙童の三種類。</p>	
	<p>【京劇所作や立ち回りの体験】 共演しない児童・生徒は「圓(ユアン:まる)」を基本とする京劇の優雅な所作や指使いについて体験します。会場スペースがあれば新聞紙を丸めた武器の代用品を準備してもらい、立ち回りの基礎も指導します。</p>	
	<p>【劇中の唱・セリフ指導】 共演しない児童・生徒には劇中のキーポイントとなる唱・セリフを指導し、本編で実際に言ってもらうための練習をします。</p>	
	<p>【リハーサルの観覧】 指導を受けた共演者たちがリハーサルを受ける様子を観覧します。</p>	
<p>【その他】 学校の希望がありましたら交流給食、俳優への質疑応答などに対応します。</p>		

リンク先	No.3	【公演団体名	新潮劇院	】
ワークショップ 実施形態の意図	【京劇レクチャー】	<p>「伝統芸能」というものに全く触れたことがなかったり、中国のことをあまり知らなかったりして身近に感じられない子供は多いと思います。導入として「日本の伝統芸能」や「地域の行事・お祭り」などに触れていきながら「伝統芸能」といっても元々は庶民の娯楽として発展した身近なものであり、外国の伝統芸能でもそれは変わらないということを伝え「京劇」との距離感を近づけます。更に京劇独特の強烈なメイクや、実際の京劇映像などを紹介することで子供たちの興味関心を高め、上演する演目の紹介と絡めながら京劇の特徴・魅力について伝えていきます。</p>		
	【共演者への指導】	<p>「京劇」の技術は本場中国でも専門の学校でしか習得できず、一般には体験のできないものです。それが日本でプロの指導を受けることができ、さらに本物のメイク・衣装で舞台共演することは子供たちにとってもインパクトを与える貴重な体験となり、将来の芸術家の育成にも繋がります。特に普段は引っ込み思案な子が自己表現をする機会にはうってつけで、京劇の派手な衣装・メイクを装うことによって自信をもって舞台上に登場でき、自分の持ち技やセリフなどを友人たちの前で堂々と表現する体験をすることができます。芸術の楽しさを知るとともに、出演した子供たちの自己評価を高め、コミュニケーション能力や積極性を著しく成長させると毎回好評をいただいております。</p>		
	【京劇所作や立ち回りの体験】	<p>また、各チームごとに順番での演技指導となり、指導がない合間にはチームごとに「どうしたらうまくいくかな?」「この段取りはどうだっけ?」と、この新しい共通課題について自然とコミュニケーションを取りながら自主練習をしていくことになり、子供の自主性を引き伸ばしていきます。</p> <p>京劇は舞台装置がなく、俳優の演技・所作だけで状況・場面を説明する伝統芸です。映像や舞台でもビジュアル的な説明要素が多くなってきている現代の人間には一見わかりにくいですが、京劇の所作のいくつかでも「実はこういう意味がある」という話を聞きくことで子供たちの発想力を刺激し、他の色々な所作についても、より想像を膨らませて楽しく鑑賞できるようになります。この体験は能楽といった同じ特長を持つ伝統芸能の鑑賞にも通じ、総じて芸術鑑賞能力の向上につながられます。</p>		
	【劇中の唱・セリフ指導】	<p>京劇の動きの美しさは「圓(ユアン:まる)」という様子を由来としています。曖昧に見ているだけでは気づきにくいものです。その動きを実際に体験しておくことは本公演で繰り上げられる様式美への深い理解に繋がっていきます。また、日常では体験できないような身体の使い方や極端に誇張された表現方法に新鮮さと面白味を感じる子もいることでしょう。</p> <p>昔は新聞紙を使った「正義の味方ごっこ」といった遊びもよく行われていましたが、今の子供たちにはそのような経験も少ないと思います。子供が大好きな「戦いごっこ」をプロが指導しながら行うことで安全かつ楽しく体験でき、また本編中での激しく難易度の高い立ち回りができる仕組みも、このような基礎とお互いの了解があつてのことと理解できます。</p> <p>こういった様式技術は毎日の基礎練習を繰り返すことで習得されるもので、1日のワークショップではその触りを知ることができるのですが、実際には中国の戯曲学校で、自身と同年代の子供たちが連日訓練を行っています。彼らが俳優として舞台上に立つまでに日々どのような訓練をしているのか、芸術を極めることの困難さも知ることができます。</p>		
	【リハーサルの観覧】	<p>最後に共演者たちがリハーサルを実施し、その様子を観覧することで、実際にメイク・衣装を纏った本編への期待感を高めるとともに、舞台が出来上がっていくまでの過程を知り、さらに本編では演劇における舞台装置・小道具の効果を体験できるようになっています。</p> <p>それぞれのチームは「格好良く隊列を組む」「自由気ままに振舞う」「可愛らしく動く」などそれぞれのキャラクタに合わせた動きを習得していきますので、同じ京劇であっても役柄によって動きが違うということをよく理解できるようになります。</p>		

文化芸術による子供の育成事業 - 巡回公演事業

新潮劇院

孫悟空 天界で大暴れ

演出：張春祥

写真：木村武司

子供たちと中国伝統芸能「京劇」を上演!



派手なメイク・豪華な衣装でお芝居をし、アクロバットや立ち回りなど見所満載な「京劇」ユネスコ無形文化遺産にも登録されている中国伝統芸能を子どもたちと共演で上演します。演目は子どもから大人まで知っている「西遊記」の主人公「孫悟空」の物語。

ワークショップ 出演の子どもたちにプロが段取り指導。出演しない子どもたちには歴史・様式の説明、立ち回り体験など。



本公演 子どもたちが京劇俳優によるメイク、本物の舞台衣装で登場。上演前には鑑賞方レクチャーもあり見所がたくさん。



【孫悟空役 石山雄太】

東京浅草うまれ。小学生のときテレビで上演していた京劇「孫悟空 天界で大暴れ」を見て以来、孫悟空に魅了され、高校卒業後、中国最高の京劇教育機関である「中国戯曲学院」に留学。卒業後中国トップの京劇団「中国国家京劇院」に入団。現在に至るまで唯一の外国人(日本人)京劇俳優となっている。現在は日本に戻り京劇普及活動と孫悟空役の研鑽に務めている。正に「子どもの頃の夢を叶えた」人物。

京劇について



様々な中国の地方劇の要素を取り入れた中国伝統芸能「京劇」は「国劇」とも呼ばれ、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。派手なメイク・豪華な衣装・アクロバット・立ち回りで見所は満載ですが、舞台装置は簡素で、通常は机一卓と椅子二脚程度しかありません。京劇俳優は基礎となる四技能唱(歌)、念(セリフ)、做(しぐさ)、打(立ち回り)を駆使して、自分の手で様々な場面設定を舞台上に創り上げます。「伝統芸能」ということで、堅苦しいイメージがありますが元々は庶民の娯楽として親しまれてきたもので、俳優が見得を切った時には拍手や「好(ハオ!)」という掛け声をかけて演者を応援します。演者はそれに応じてさらに熱演を繰り広げます。

よくあるご質問

Q.子どもたちが舞台上で失敗してしまったら上演に影響があるのでは?と心配です。

A.段取りは覚えやすい内容で、かつ指導時に様子を見ながら臨機応変に調整して、無理なくできる内容にしています。出演中も常に役者がサポートし、もしど忘れなどがあっても問題なく本来の進行に戻る構成にしております。どうぞご安心ください。

Q.上演は中国語でしょうか? 話についていけない子がいるのではないのでしょうか。

A.孫悟空は中国語ですが、日本語で演じる役もあります。舞台袖には低学年でも読める内容・分量で日本語字幕が表示されます。が、全体的にセリフは少なく、孫悟空は表情豊かでリアクションも大きいので字幕を読まなくても物語は理解できます。

Q.外国の伝統芸能だと難しそうですが、低学年の子でも最後まで飽きずに鑑賞できますか?

A.京劇はもともと茶館で上演し、気楽に隣の人とおしゃべりをしたり、笑ったり、拍手や掛け声で応援ができる伝統芸能です。上演前レクチャーではそういった説明や「好(ハオ!)」の掛け声を練習し、子どもたちはリラックスした状態で長時間の鑑賞を楽しむことができます。ストーリーはシンプルですが、派手な衣装やメイク、独特な発声、猿の面白い動き、派手な立ち回りなど見所が満載で最後まで飽きることはありません。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D53	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	新潮劇院				制作団体名	一般財団法人 日本京劇振興協会			

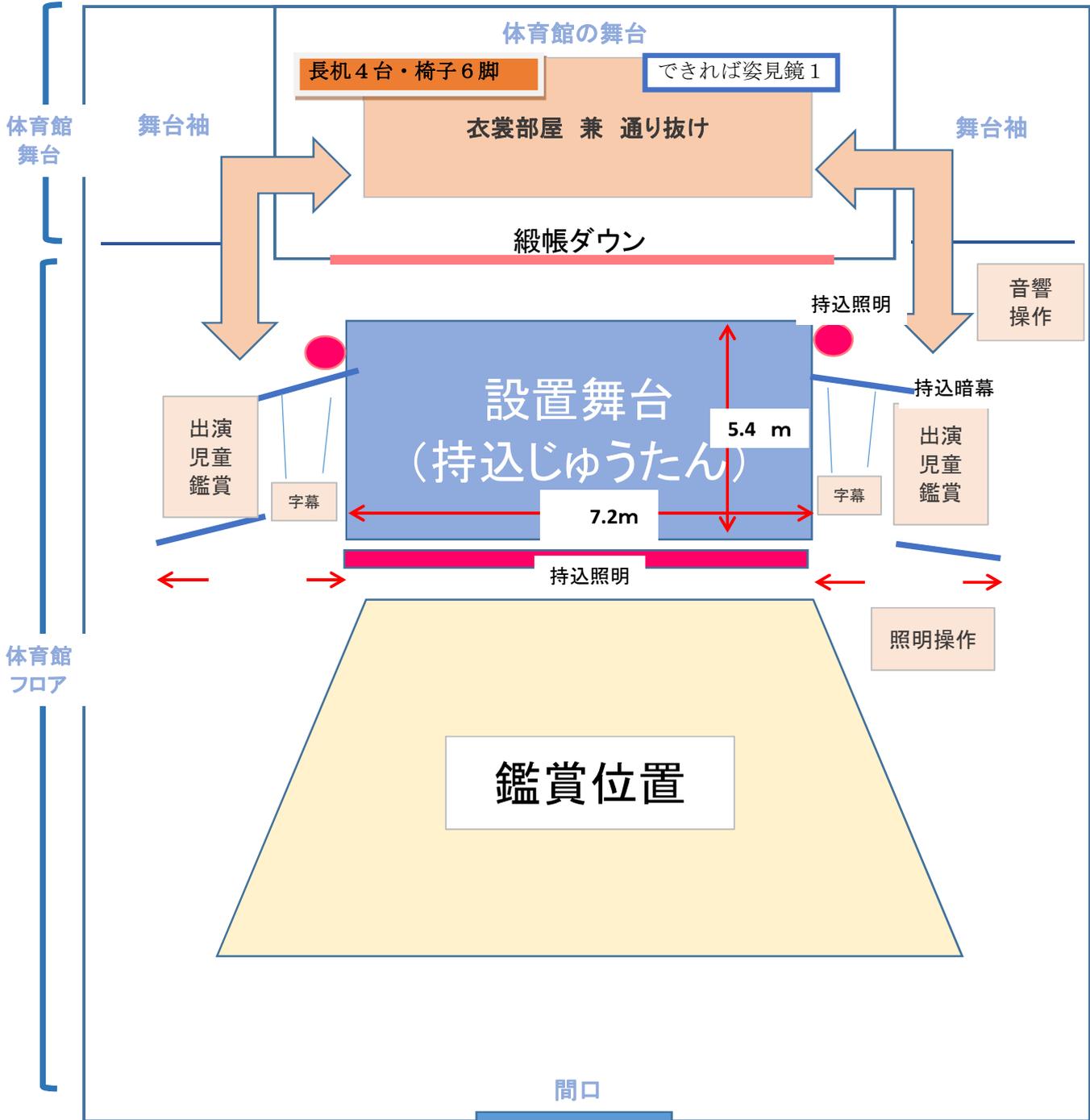
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	1室	条件	ある程度広く(20名ほど収容可)、水道が使いやすく、会場に近い。(理科室・家庭科室など)				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			中型バス	1台	2tトラック	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック(搬入出時のみ来る。留め置きなし)				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			不要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				可	
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				可	
	理由			機材が多く、貴重な衣装などがあるため。					
	設置階の制限 *			問わない				可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1m	高さ	1m		可	
	WSについて	参加可能人数	共演者指導 6~26名+ワークショップ600名程度					可	
学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	共演は高学年が望ましい			可		
所要時間の目安 単位:分		90~120分					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			共演者 6~26名+観覧600名程度				可	
	舞台設置場所 *			フロア				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	14.4m	奥行	6m	高さ	3m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			通り抜けられる導線がある状態				可
		緞帳 *		要		バトン *		不要	
	遮光(暗幕等)の要否 *			要		理由		自然光が強いと字幕が読みにくくなる	可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			可
		ピアノの事前調律 *		不要				可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		舞台が遮られなければ問題なし				可	
	公演に必要な電源容量			20A		※主幹電源の必要容量			可
	その他特記事項							応相談	
京劇は舞台装置がシンプルで柔軟な対応が可能、屋内であれば、ほぼあらゆる環境で上演可。							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1m	高さ	1m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



- ・床に持込カーペットを敷いて舞台を設営。体育館のステージは緞帳を下ろし、衣裳部屋兼移動通路となります。ステージ上と袖は通り抜けができるように、学校の機材・ピアノがあれば動かしてください。
- ・舞台袖に音響器具を設営します。(スピーカー、ミキサーなど)また、体育館の音響機器に当方の音響機器を繋ぎこみます。
- ・舞台両脇に持ち込みの暗幕・字幕用パネル・字幕用プロジェクタ、照明器具を設営します。
- ・観覧スペースの最前列は絨毯の端から最低でも1m、可能であれば2mほど離して下さい。